

卒業論文

大阪市城東区の地域環境

京都経済短期大学 経営情報学科

今瀬政司ゼミナール

背戸雄太

卒業論文
 大阪市城東区の地域環境

京都経済短期大学経営情報学部 今瀬ゼミナール
 背戸雄太

目次

I はじめに	1
II 大阪市城東区の町の歴史	1
1 城東区の生い立ち	1
2 明治初期の様子	1
3 都市化による街並みの変化	1
4 大阪市への編入	2
5 河川・運河整備がもたらした工業の発展	2
6 区域の再編成	2
7 地下鉄の開通と幹線道路の整備	2
8 変化する河川の役割	2
9 工場跡地に建設される高層住宅	3
10 近年の城東区	3
III 大阪市城東区の町の特徴	3
1 各地域の特徴	3
(1)各地域の声	3
① 深江橋	3
② 緑橋	4
③ 放出駅	4
IV 地区別の調査結果	4
1 諏訪の地区	4
(1)諏訪一丁目	4
(2)諏訪二丁目	5
(3)諏訪三丁目	5
(4)諏訪四丁目	5
2 永田の地区	6
(1)永田一丁目	6
(2)永田二丁目	6
(3)永田三丁目	7
(4)永田四丁目	7
3 東中浜の地区	7
(1)東中浜一丁目	7
(2)東中浜二丁目	8
(3)東中浜三丁目	8

(4)東中浜四丁目	8
(5)東中浜五丁目	9
(6)東中浜六丁目	9
(7)東中浜七丁目	9
(8)東中浜八丁目	10
(9)東中浜九丁目	10
V 調査後の考察	11
1 諏訪での考察	11
(1)特徴	11
(2)ゴミ問題	12
2 永田での考察	12
(1)特徴	12
(2)ゴミ問題	12
3 東中浜での考察	12
(1)特徴	12
(2)ゴミ問題	13
4 全体での考察	13
(1)特徴	13
(2)ゴミ問題	13
VI 問題解決に向けて	14
1 ゴミ問題解決	14
(1)コンビニ・自動販売機問題	14
(2)タバコの吸い殻問題	14
VII 終わりに	14
VIII 参考文献	15

I はじめに

大阪市城東区にある諏訪・永田・東中浜の地域では、ゴミが道端に落ちているのをよく見掛ける。ゴミ箱が町に無い訳でもないのにも関わらず道端に落ちているのはなぜか。住んでいる人口が多いほど地域環境は良くあるべきだと考える。筆者の深く関わりのあるこのまちを環境・暮らしやすい町にするために、自分にも何かできることがあると考えた。原因を明らかにし、解決への第一歩のためこの地域について考えをまとめた。

調査の方法としては、大阪市立城東中学校の通学区域内である諏訪・永田・東中浜の地域について実際に筆者自身の足で歩き調査する。調査の後、明らかになった事から対策方法を考えた。

他には、住民から意見を各々が感じている事に基づいて、城東区の今回挙げている三つの地区の特徴を紹介した。

II 大阪市城東区の町の歴史

II-1 城東区の生い立ち

かつての大阪市の城東区域は、上町台地の東側の入り組んだ海だったが、淀川と旧大和川が運び込む土砂によって陸地化した。江戸時代初期には、現在の地名の元となる村々がほぼ成立していたが、淀川と大和川の合流地に近く、土地が低いため昔から数え切れないほどの洪水に巻き込まれていた。

近くには、大きな川が流れている。城北川という川で、1935年、工業地域として舟運の便が著しく欠いているということで、区画整理とあわせてこの城北川という運河が開かれた。

1955年～1965年代も高度経済成長期には、工場、家庭排水により今ではもうドブ川と姿を変えてしまった。1985年度からは、国・大阪府の援助もあり、河川環境機能の増進を図ることを目的とした治水がおこなわれた。この治水の効果で大阪市管理下の城北川は「一級河川」と認定された。

2 明治初期の様子

明治時代に入ってから城東区域は、大阪市東西郡に属しており、旧大和川の付け替えにより開発された河川跡や自然堤防はやや高台になっており、集落は旧大和川の堤防の上あるいは、旧天井川の高台の上に分散独立しており、その周囲の低地には水田が広がって人家は一戸もなかった。

当時の主な交通手段は村内を通る幹線道路である京街道や古堤街道を利用していた。現在の城東区区域内で最大の集落であった今福(今回の調査対象の1つ北の地区)は、寝屋川や鯉江川に沿って水利に恵まれ江戸時代から、舟運の中継基地として栄えていた。だが、1885年に淀川大洪水が起こり最も高台にあった今福も含めて大きな災害をもたらした。この災害をきっかけに明治42年に新淀川が開削された。

結果、広い宅地用地を得て、その後に起こる都市化が進む大きな要因になった。

3 都市化による街並みの変化

鉄道の開通により農村地帯から工場・商店・住宅が目立つようになり、1890年頃からガラス工場が進出し、メリヤス工場なども増加する中、人家が増え、1888年から大正元年にかけて人口増加率22.9%にまでなった。日清・日露戦争を契機に紡績工場・鉄工場が操業をはじめ、大阪城内に設立された造兵司は大きな影響を与え、近接する西南部一帯は、町工場と職工の住宅地になり農村地帯とから工業地域へと変化するとともに、人口の大幅な増加による都市化が図られた。

4 大阪市への編入

都市化が進むにつれ道路・下水道・保健施設などの整備が問題となった大阪市は、第一次市域拡張に引き続いて第二次市域拡張を行い、城東村は大阪市に編入され東成区の一部となった。

また、市域編入と前後して都市計画法に基づき、組合施行による土地区画整理事業が進んだ。城東区域では、董之荘区画整理組合が結成されたのをはじめとして、1937年までに野江・京阪沿線・今福・福田・放出・西放出・城東・諏訪・今津の9土地区画整理組合が設立され、区の面積の約5分の2にあたる633.5ヘクタールにわたり土地区画整理事業がおこなわれた。

5 河川・運河整備がもたらした工業の発展

城東区域は、河川・運河が多く農業・生活用水や船運に大きな役目を果たしたが、市街化に伴って大雨による浸水被害は一層大きくなった。大正から昭和初期にかけて区内の河川・運河は大幅に整備が進められた。城北運河は1935年から着工され、15年に竣工した。

こうした河川・運河の開削や整備は、船による交通の便を高め、当区域の工場地化が進む大きな要因になった。一方で、河川の氾濫による災害が起こった。1934年9月、近畿地方一帯を襲った室戸台風は、当区域にも影響を及ぼし、寝屋川・平野川の氾濫によって新喜多・嶋野・蒲生・今福・放出・中浜方面での多数の家屋が浸水した。

抜本的な治水対策は、戦後になって実現し第二寝屋川や平野川分水路の完成によって洪水の危険は大きく減少した。

6 区域の再編成

1955年、大阪市に隣接する6町村の合併によって北河内郡茨田町が城東区に編入されたが、1974年に行われた行政区再編成により、区内を南北に走る新庄大和川線（大阪内環状線）と第二寝屋川を結ぶ線が鶴見区と東西に分かれ新しい城東区が誕生した。

7 地下鉄の開通と幹線道路の整備

区内に地下鉄線が走るようになったのは、1968年の中央線からで、以後、谷町線（1977年）、長堀鶴見緑地（1990年）、今里筋線（2008年）と続いて地下鉄路線が整備された。幹線道路も新庄大和川線、森小路大和川線、古市清水線、東野田茨田線などが続々と開通・拡張されていき、交通至便の地となった。

8 変化する河川の役割

自動車輸送の発達による水上輸送の減少、工業・生活廃水の流入による水質の悪化もあり、高度成長期の1955～1965年代にかけて、区内の川は次々に埋め立てられていった。京街道に沿って流れていた榎並川、明治初年に開削された千間川をはじめ楠根川や鯉江川などの水運の使命を終えた川の多くが、埋め立てられ道路や公園などになっていった。しかし、安らぎと潤いをもたらす新しい生活空間として楠根川跡の下流400メートル部分には、工業用水を水源とする人工的な、せせらぎと美しい緑が整備され、千間川川下跡地には、地域住民の願いであった千間川公園が昭和47年に完成し、縁陰歩道も整備された。1985年河川改修事業とともに城北運河から改称された城北川は「ふるさとの川モデル河川」として、治水対策と親水性の高い水辺空間の整備が進んでいる。かつ

て汚濁の著しかった水には魚が泳ぐようになり、広場、ジョギングや散歩を楽しめる遊歩道が設けられ、多くの区民に憩いの場として親しまれている。

9 工場跡地に建設される高層住宅

工場地域として発展してきた城東区だが、かつての陸軍練兵場跡地にできた高層住宅団地や鳴野地区では再開発により高層住宅群などが建設された。戦前に行われた土地区画整理事業により緑が多い整然とした街区が形成されたこともあり、都心に隣接する交通至便な住宅地として徐々に注目されるようになった。さらに近年、移転した工業跡地に市営・公団等の高層住宅や民間マンションが次々に建設され、住宅や商業などの機能を備えた住みやすい街として発展してきた。人口においては1970年以降、15万5千人前後で推移している。

10 近年の城東区

1998年3月に「区民スポーツセンター」と「男女共同参画センター東部館」が鳴野に、近未来の高齢者社会に向けてく住宅サービスセンター（区拠点型）が中央地区に完成、同年12月には交通局古市営業所用地内に「城東屋内プール」も建設された。このようにいきいきとした地域コミュニティを形成するための公共施設も充実する城東区では、今後ゆとりとうるおいのある、快適な街に向けた地域づくりが求められてける。

Ⅲ 大阪市城東区の町の特徴

大阪府大阪市城東区という町は、大阪市を構成する24区の一つで、政令指定都市の全行政区のなかで、最も人口密度が高く数値で表すと人口は166,777人、面積は8,38km²で、人口密度が19,000人/km²を超える。最近でも区の西部、北部で高層マンションの建設が盛んに行われており、人口密度はさらに上がる可能性があるまちである。

1. 各地域の特徴

2010年10月1日の時点で諏訪の世帯数3,719世帯に対し人口8,159人、永田の世帯数2,734世帯数にたいし、6,124人、東中浜の世帯数4,935世帯に対し人口12,680人となっている。そしてさらに、平成27年3月末日の時点でまず城東区の世帯数82,529世帯に対し人口167,313人、諏訪の世帯数4,282世帯に対し人口8,463人、永田の世帯数3,021世帯に対し人口6,524人となった。日本には超高齢者社会となっているが、自分の町がまさにその状態に陥ってしまった。

(1) 各地域の声

この地域の元住人、現住人の声で、まずはこの地域周辺の駅である深江橋駅、緑橋駅、放出駅の三つの駅があるが、その駅ごとに意見を聞きまとめた。調査対象は駅毎で長年住まれている方、計15人に聞いた。2018年11月13日火曜日に行い、年齢は20～70代、男女に聞いた。

① 深江橋

深江橋駅において良いと感じることは、スーパー・コンビニ、飲食店が多いため生活する上での不自由が少なく生活しやすい。さらには、実際に小学校や中学校が推奨している警察の安まちメールというものがある。これは、自分の地域を登録しておくことによって近くで、犯罪が起こった場

合いつ、どこでなにがあったかすぐにわかるように携帯に送ってくるものである。だがこの防犯の策は実際に使われたことはなく、治安がとても良いということがわかる。

他には、周りに緑があまり多くないという方もいる。小さな公園はあるが大阪城公園や鶴見緑地公園といった大きな公園がないためか、緑を感じるところはすくない。さらには、幹線道路が近くにあるため車の通る騒音が気になるといった意見があった。

またこの地域には、下水処理場がありここからの匂いが気になるという周辺住民からの声があった。

② 緑橋駅

緑橋駅においても深江橋と同様、飲食店が多い。そして緑が少ない。騒音がきになる。といった、同じような声があった。中央大通り（国道308号線）、内環状線、今里筋が通っているため、やはりある程度の騒音は仕方のないことかもしれない。

③ 放出駅

放出駅においては、歩道整備が交通量に応じた整備がしっかりされている。ほかには、医療施設が整っているということ。眼科、内科、外科、小児科、皮膚科、歯科など。医療施設が整っていることで老若男女、特に高齢者の方に人気があるということだった。

逆に、気になる点として住む場所によっては小学校、中学校が遠い位置にあるということであった。

IV 町別の調査結果

私の住む地域の大阪市立城東中学校の学区内（諏訪・永田・東中浜）を調査。今回の目的であるゴミ問題、次いでその地区別の特徴を詳しくまとめた。

調査方法としては、実際に自分の足でその地区を歩いてみて感じる。そしてゴミの問題を解決するために原因を調べる。午前9時と午後9時、2018年11月13日火曜日と2018年11月17日土曜日の二日間で調査を行なった。

IV-1 諏訪の町

(1) 諏訪一丁目

この地区では、JRの放出駅が最寄りにあり駅周辺においては、人通りも多く、飲食店もあり、賑わっている。だが駅から離れると一変し、細い路地が多くなり、入り組んでいる。

人通りも少なく比較的古い家が並んでいた。閑静な住宅街といった感じで、マンションは少なく一軒家ばかり並んでいた。寺も多かった。住んでいる方々も見ているとお年寄りの方がほとんどである。夜になると雰囲気は変わり暗い。大きな通りとは面しておらず、高架下となる。

ゴミ問題に関して、住宅街の方では全く見かけることもなく家の前にゴミ袋でまとめて置いてあり、綺麗だった。一方、駅の周辺に行くとゴミがよく落ちていた。ゴミの種類は空き缶、ビニール袋が道端に捨てられていた。特に多かったのは、タバコの吸い殻だった。駅周辺の至る所に吸い殻が落ちていることがわかった。



Google map 2018掲載2018年11月20日閲覧

(2) 諏訪二丁目

この地区は、他の地区と比べると狭い地区であった。住宅が多く、人通りも多く人口も多い。団地があるため地域の人同士の繋がりは強いと考えられる。一丁目には無かった特徴として大通りと面しているため騒音の大きさが気になる。この辺の住人に知らない人はいない、有名な諏訪神社がある。

ゴミ問題に関して、この地区は気になる部分はなかった。ゴミに関してしっかりと環境が整えられているのだと感じた。大通りになると別でやはり吸い殻が多かったという結果になった。



Google map 2018掲載2018年11月20日閲覧

(3) 諏訪三丁目

この地区は、基本的に住宅が多かった。高層マンションも立っており人口も多い。高校では部活動であろう声が聞こえる。グラウンドでは小学生がサッカーをしているのをよくみかけた。そのため日中において元気な地区だと感じた。スーパーもあり生活において不自由の少ない地区だと考える。夜には街灯も多く安心してあることができる。

ゴミに関しては、この地区もしっかりと良い環境が保たれていると感じた。相変わらず大通りには吸い殻が見かけられた。



Google map 2018掲載2018年11月20日閲覧

(4) 諏訪四丁目

この地区は、三丁目と比べると人口は同じくらいで、一軒家の数が多かった。

この地区は他とは違い、中央大通り（国道308号線）、内環状線が交わる交差点と面しており、車の騒音に関しては日中鳴り止むことはない。最寄りに深江橋駅があり、交通の便では困ることは少ない。飲食店も豊富。

ゴミに関しては諏訪の地区の中で一番多かった。大きな通りと面している道が特に多く、そのほかにも一本裏道に入っても吸い殻はよく落ちていた。1～3丁目とは打って変わって環境の状況はよく無かったという結果になった。



Google map 2018掲載 2018年11月20日閲覧

2 永田の町

(1)永田一丁目

この地区は、昼間は近くに JR の電車が通っており、その音がきになる。近くに工場もあり、日中は騒音に困る。夜になると、とても静かで人通りは少なく、街灯も少ない。昼夜の差が激しい。住宅は少ないものの暮らして行く上で最寄りの放出品に近いというだけで、困ることが無くなることはないだろう。

ゴミに関しては、ちょうど真ん中の方に専永公園という公園があるが、この周りにタバコの吸い殻のポイ捨てが多いという結果になった。



Google map 2018年掲載 2018年11月20日閲覧

(2)永田二丁目

この地区には、小学校があり人通りはとても多い。グラウンドもあり子供達からお年寄りまで集まれる場所になっている。日中は特に活発な地区となっている。夜間においても、ある程度の人通りがあり、街灯も多く、マンションが多いため人口も永田の中で一番多い。内環状線と面するため車の音は気になる。グラウンドに関して、平日はいろんな人の憩いの場所となっているが、休日となると社会人の野球や少年サッカーにより賑わっている。

ゴミに関してだが、これまでのケースを見てまた公園のような場所がゴミの溜まるような場所なのかと思っていたのだが、ここのグラウンドにはゴミ箱が設置されておりそのゴミ箱にしっかり集められていた。少しは落ちていたゴミもあったが、断然綺麗だった。大通りにはやはりタバコの吸殻は落

ちていた。ほかには、グラウンドの近くにある自動販売機横のゴミ箱にはゴミがあふれているにも関わらずに捨てられていた。その場所以外においては綺麗にされている。



Google map 2018年掲載2018年11月20日閲覧

(3)永田三丁目

この地区は、人口も多く住宅も多い。大きなスーパーもあり、中学校もある。生活をして行く上での不自由は感じない。私の住む町において一番住みやすい地区だと考える。人通りもおおく、街灯も多い。会社が多いのも印象的である。その会社については、灰皿をしっかりと用意していた。

ゴミに関してだが、会社がしっかりと灰皿をおいてあるなど、工夫がされていてゴミも少なく綺麗だった。そんな中でも大通りにはタバコの吸い殻が捨てられていた。



Google map 2018年掲載2018年11月20日閲覧

(4)永田四丁目

この地区は、中央通り(国道308号線)、内環状線が通っているため大通り沿いに関してはいまでもなく騒音がある。だが、裏道に行くと閑静な住宅街となっており街灯が少ない。だが、公園もあり子供達が集まる元気な地区となっている。

ゴミに関して、公園においてはゴミ箱のおかげで少なかった。駅周辺ではタバコの吸い殻がどうしても気になった。諏訪四丁目、永田四丁目駅周辺の地区においてはとくにタバコの吸い殻のポイ捨てが多かったとわかった。



Google map 2018年掲載2018年11月20日閲覧

3 東中浜の町

(1)東中浜一丁目

この地区は、住宅が多く、閑静な住宅街となっていた。特徴とすれば、大きな病院が二つもあること。その病院周辺においては入院患者らしき方々がいた。それ以外では人通りも少なく、今里筋に面していないところはとても静かだった。

ゴミに関しては、調査の結果では空き缶が何個か見かけられた。おそらく車に踏まれ、形が無くなったものだった。これが証拠であるようにポイ捨てされているからこのようなことがあるのだと考える。タバコの吸殻は大通り沿いに見かけられた。



Google map 2018年掲載 2018年11月20日閲覧

(2)東中浜二丁目

この地区では、団地があり人口は多い。ここも閑静な住宅街であった。街灯は少なく人通りも今里筋に面しているところ以外では少ない。だが、保育園や体操教室があるため子供の行き交いがあるのが確認できた。

ゴミに関しては大通りにあるタバコの吸殻以外は何も気になるところはなかった。綺麗にされていて団地となると少し汚い印象を受けていたが、この団地の方々については周りの人を気遣える人が集まっているから現在のように良い環境が保たれているのだろうと感じた。



Google map 2018年掲載 2018年11月20日閲覧

(3)東中浜三丁目

この地区は、一軒家が多く並んでいる住宅街だった。とにかく閑静なところだという印象を受けました。人通りも一丁目、二丁目と変わらず今里筋周辺にあるだけで他においては少なかった。住宅ばかりの地区だった。

ゴミについては、今里筋のほうでは見かけられたが他では一軒、一軒ゴミはまとめられており、その家の前にゴミを出しておくという方法であるには変わらないが、しっかりとまとめられており、この地区に住んでいる方々の人間性の良さが伝わった。



Google map 2018年掲載 2018年11月20日閲覧

(4)東中浜四丁目

この地区は、少しの住宅とスーパー、後は大阪府の寝屋川水系改修工営所という大きな会社がある。人通りはおそらく会社員らしき方の行き交いが、会社から近くにあるファミリーマートまでの道が一

番多い。スーパー付近が特に人通りが多かった。

ゴミに関しては、気になる部分は特に見受けられなかった。タバコの吸い殻に関してはみかけることはなかった。綺麗な地区だということがわかった。



Google map 2018年掲載 2018年11月20日閲覧

(5)東中浜五丁目

この地区は、四丁目のように住宅は少なく地区の範囲も狭い。特徴としては、小学校があることで日中は賑やかであった。その隣にグラウンド兼公園があるため休日においても賑やかである。夜になっても街灯が多かった。夜になると閑静な住宅地と化す。

ゴミに関しては、公園にゴミがよくみかけられた。タバコの吸い殻から空き缶、ペットボトル、ビニール袋など多様なゴミが見かけられた。他の場所においては気になる部分はなかったのでこの地区の問題点は、まずこの公園を綺麗にすることから始まる。



Google map 2018年掲載 2018年11月20日閲覧

(6)東中浜六丁目

この地区は、四丁目、五丁目と面積は変わらないが住宅が多く、安いスーパーがあり人通りも多い。このスーパーには集客力があり、駐車場はほとんど埋まっている。このスーパー以外については閑静な住宅街となっている。商店街があるが昔は栄えていたが今となっては、少しさみしい商店街となってしまった。中央大通り(国道308号線)に少し近いので車の音も聞こえるが基本的に閑静であった。

ゴミに関してだが、商店街を通るとゴミは決められているであろう場所にしっかりと固められていた。その他でも家ごとにしっかりとまとめられていた。大通りと面しているわけではないので、タバコの吸い殻も面している地区と比べると断然少ない方であったがその中央大通りから曲がって来る道路には少なからず捨てられていた。



Google map 2018年掲載 2018年11月20日閲覧

(7)東中浜七丁目

この地区は、少しの住宅と比較的大きめの公園があることが特徴。公園に関しては多くのひとがこ

の公園を利用している。小学生、中学生、高校生、親子で来ている方。遊具も豊富なため遊びの幅が広く、また面積としても大きいのでボール遊びもできるということが人気の理由だと考える。また静かな場所なので落ち着いていて過ごしやすい。

車の交通量も少ないので安心して遊ぶことができる。たまに運輸会社があるためトラックの出入りがあるが誘導してくれる人がいるので安心できる。

ゴミに関しては、公園にゴミ箱が置いてありポイ捨てされていることもない。他の場所においてもゴミが落ちているようなところはなかった。この地区もモデル対象になる地区という結果だった。



Google map 2018年掲載 2018年11月20日

閲覧

(8)東中浜八丁目

この地区は、主に住宅地となっていて大小のマンション、一軒家の多さが特徴的だと感じた。落ち着きのある住宅地でコンビニもあり、生活をする上で困ることはないと考えられる。一つの

コンビニに対して毎日たくさんの方が集まっている。この地域の人たちを独占しており、この先長いこと潰れることはないと思われる集客率である。

ゴミ問題に関しては、この地区も特に気になる部分もなく綺麗な地区である。

ただ、このコンビニに捨てている人が多いためコンビニの店員の方は気を配っていないとゴミ箱が一杯になり分別なく入れられたりして大変そうだと感じた。



Google map 2018年掲載 2018年11月20日 閲覧

(9)東中浜九丁目

この地区は、地区のほとんどが住宅となっている。また、商店街がある。昔と比べれば賑わいは無くなったもののそれでも経営されている方もいるのでゴミは出るが、しっかりとまとめられていた。他には橋を渡るとスーパーもコンビニもあるので住みやすい地区だと感じた。

ゴミ問題に関しては、上で述べている通りゴミはしっかりとまとめられているので収集車の方も集めやすくお互いに助け合っている地区だと感じた。

他には、今回どの地区にもだがこの吸い殻が見受けられていたがこの地区においても川像に捨てられていた。



Google map 2018年掲載2018年11月20日閲覧

V 調査を終えてからの考察

今回の調査を終えて感じたこと、全体を通して町ごとにまとめて考察した。

1 諏訪での考察

1—(1)特徴

諏訪の町は、この地区はスーパーやコンビニなどの施設が少ない。その割には、団地やマンション、一軒家が多く、人口が多いのに対しそういった買い物ができるところが少ないのは二つの地区と比べると利便性が低い。そして、地区ごとによつての差が激しいこともこの街での特徴の一つであると感じた。差というのは、諏訪一丁目では駅周辺の賑わいとは裏腹に少し離れると静かな住宅地となってしまう。諏訪二丁目においても、内環状線近くには店も並んでおり賑わっているが離れると別の地区かのような閑静な住宅地が待っている。諏訪三丁目、四丁目においても

同じことが言え、大きな通りの付近での賑わいは私の住む町の中で最も大きなものである。

この大きな通り付近とそうでないところでの差が激しいのがこの町の最大の特徴だと考える。

そんな諏訪の町だが、諏訪二丁目にある諏訪神社では年に二回、二日間ずつ、夏祭りと秋祭りがあり私の住む町の方々で行ったことのない人はいないと言えるくらいに有名な祭りがある。この祭りは1590年の豊臣秀吉の小田原城攻略戦勝を祝い諏訪神社への奉納に由来するとされている。このように普段は静かな住宅地とされているがこの四日間はすごい賑わいを見せる。



<https://encrypted-tbn0.gstatic.com/images?q=tbn:ANd9GcTJtzOiTYoGS2XY99Y8zizro7ZGSphio6vAVtOuKJU252w2Jd5O> 2018年7月8日掲載2018年11月20日閲覧

諏訪三丁目では年に一回、夏に盆踊りが行われる。グラウンド行われる。盆踊りには地域の人たちが出店を出し合い地域を活性化しようといわれている。この盆踊りはどの年代の方にも楽しんでいただけるような工夫がされており子供には8時に放送をかけてグラウンド内で集合してもらいお菓子を配ったり、お年寄りの方にはこの祭りのメインの盆踊りを楽しんでいただく。若い子には地域のバスケットボールのチームが店を出していたりする。雰囲気を楽しみたい人、食事をしたい人、多様な人に向けてのニーズが合わされている。



https://blog-001.west.edge.storage-yahoo.jp/res/blog-5c-9c/naniwakai09/folder/1556735/63/64627863/img_0 2018年8月6日掲載 2018年11月20日閲覧

(2) ゴミ問題

この町におけるゴミ問題は、大通り沿いにゴミが多いということである。そのゴミの中でも

タバコの吸い殻が特に多い。大通り以外においては綺麗にされておりゴミもしっかりまとめられている。この町でのゴミ問題は、タバコの吸い殻だということがわかった。

2 永田での考察

2—(1) 特徴

永田の町は、大きいスーパーもありコンビニもあるため住みやすい町の環境が整っている。三つの町で一番少ない人口に対しても充実している。公園などの子供も遊べる場所もあり、街灯も多く冬のような早く暗くなる時期でも安心できる。だが、永田一丁目に関してだけ言えることは、とても静かで他の地区とは差が激しい。そして、唯一の問題点は下水処理場である。夏場の匂いがとても気になる。近くを通ると必ず臭う。さらに問題なのは、ゴキブリの大量発生である。ゴキブリは夜行性のため普段は見かけることも少ないが、夜になり近くを通るとしたにはたくさんのゴキブリが徘徊している。気にしない人にとっては、良いかもしれないが大概の人はゴキブリに対し嫌悪感をもつものである。この問題は早急に対応すべきことだと考える。

(2) ゴミ問題

この町におけるゴミの問題点は駅周辺のタバコの吸い殻が目立つことである。あとは、折角公園などではゴミ箱を置くことなりの工夫をしているにも関わらず、近くの自動販売機ではゴミが捨てきれずに溢れているのは勿体ない。回収をする人には回収に来る期間をもう少し狭めるなどのことをしないといけないと考える。

永田の町においてはこの二つの問題点のうち一つでも早急に対応することでこの町はさらに住みやすい町になっていくと考える。

3 東中浜での考察

3—(1) 特徴

この町の特徴は、基本的に住宅街でさらには静かで落ち着いている町である。今里筋の方では店が並んでおり、賑わっているが、それ以外の地区は静かである。小学校横にあるグラウンドでは年に一

回盆踊りがある。諏訪の盆踊りよりは少し小さな規模での開催ではあるが地区のたくさんの方が訪れる祭りとなっている。この祭りの時を除いては、基本的に静かな地区である。



<http://www.jyo2.com/template/wp-content/uploads/imgs/8/d/8d486e0a.jpg>

2015年8月2日掲載 2018年11月20日閲覧

(2) ゴミ問題

この町のゴミ問題は今里筋沿いのタバコの吸い殻が気になる。他にはコンビニの数が多いため一つのコンビニに対するゴミの溜まりが尋常なく、分別なく入れられていることもある。と

いったこの二つが問題点だと考える。問題点とは別に東西に延びている商店街においてはとても綺麗にされており、ゴミもまとめられている。この二つの問題を解決することでさらに綺麗な町になることができると考える。

4 全体での考察

4—(1)特徴

筆者の住む町での全体的に言える特徴は、中央大通り（国道308号線）、内環状線、今里筋線付近では人通りが多く飲食店からスーパー・コンビニなどが多く充実しておりこの付近に暮らす人は生活がしやすい。ただ車の騒音がきになる人には向かない。その他の地区においては、静かな住宅街でありこちらには落ち着いた暮らしがしたい人にとっては生活のしやすい場所となっている。街灯も多く防犯面においても安心できる。ただ、スーパーなどの施設がないということは移動距離があるというのを頭に入れて置かなければならない。そして、季節限定ではあるが夏になると三つものイベントがありそしてそのイベントへの町の住人の方の参加率がいいというのは、この町においての地域活性化ができてきているのだと考える。

(2) ゴミ問題

筆者の住む町のゴミ問題は、まずどの地区、町にも共通していたタバコの吸い殻が捨てられていることである。特に大通り沿い、駅周辺に多く見かけた。大通り沿いに限っては車道の方によく見かけられた。そうすると車からのタバコのポイ捨てが原因となる。駅周辺に関しては、調査を経てわかったのは駅での待ち合わせの間に一服をする人が多かった。

他には、少ないコンビニに集中する人によるゴミが捨てられることにより、一杯になる速度が尋常じゃなく溢れたとなれば、燃えるゴミを燃えないゴミにいれるひとや、ペットボトルと缶ゴミを一緒にされている。コンビニ店員のいつもより多くの仕事量をこなさなければいけなくなることで問題視される原因と考える。自動販売機の横のゴミ箱に対しても同じような現象が起こっている。捨てる余

裕がなくなったために横に捨ててあったりすることも問題であるとする。

VI 問題解決に向けて

1 ゴミ問題解決

1—(1)コンビニ・自動販売機問題

コンビニ、自動販売機は今回の調査により明確になった。まず一つ目のコンビニや自動販売機については、方法はまず、ゴミ箱の数を増やすこと。コンビニの場合は、中と外で二つのゴミ箱を用意しておき大半の人は外のゴミ箱を利用するので張り紙を用意してゴミ箱が一杯になりましたら中の方にも用意していますので中のゴミ箱をご利用してください。最近ゴミ箱があふれていて捨てる場所がないとの声があったため用意しました。ご協力お願いします。など、お願いと共に何が原因かを書いておくことで理解してもらい協力してもらおう。こうすることで読んでもらった人からは協力してもらえるとする。

自動販売機の場合は、単純にゴミ箱を増やす。どこの自動販売機のゴミ箱があふれていたりするかは調査の結果からわかっているなのでその自動販売機を対象にゴミ箱を増やす。これだけで効果は見込めると考える。

(2)タバコの吸殻問題

大通りの付近のタバコの吸殻は私の町に住む方じゃない可能性の方が高いのでこの問題は、警察の方から車の乗車時でのマナーもしくは罰則を厳しくすることでしか防げないとする。これでもなくなると限らないが抑止力になると考える。

駅周辺の吸殻に関しては駅周辺で灰皿を置く。そしてよく捨ててあった場所はその場所で吸う人が多いという証拠なのでその場所に自転車が撤去されるとその下の地面に張り紙を貼ることで持ち主に伝える方法を用い、よく捨ててあった場所の下に新しく設置した場所がわかるように地図を貼って置く。それと共に注意喚起もしておく。少しでも効果があればその場所での喫煙も減り吸殻のゴミも減ると考える。

VII 終わりに

今回の調査により筆者の住んでいる町の中で、新しく知れたこともあり、このまちについてよく知る良いきっかけになった。

住民の方々からの意見により様々な視点があることがわかり、その視点から筆者の感じるものなかったものを教えて頂き、地区それぞれの魅力がありその魅力が新しい住民の方にこのまちを選んで良かったと感じてもらえるような良い町であり続けるために今回の調査結果を用い、迅速に地域環境を整えたいとする。

そして、このまちが抱える問題点がわかり解決策を考えたいが、勿論、この解決策により解決すれば良いが、解決せず少しの効果しかなくてもさらにまた一つ筆者の住む街をより良いものにする為に解決策を考えていきたい。さらにはまた違う問題点も出てくると考える。その時には一人ではなく地域の人たちと共に協力し解決していくことがこのまちを発展させ、より良い町になると筆者は考える。

VIII 参考文献

- 1 <http://www.city.osaka.lg.jp/joto/page/0000000797.html>
城東区 Joto ward 城東区役所 総務課 総合企画グループ
2006年12月1日掲載 2018年11月20日閲覧
- 2 <https://toukei-labo.com/2010/danjo.php?tdfk=27&city=27118>
国勢調査 GIS（総務省統計局）2015年10月1日掲載 2018年11月20日閲覧
- 3
<https://encrypted-tbn0.gstatic.com/images?q=tbn:ANd9GcTJtzOiTYoGS2XY99Y8zizro7ZGSphio6vAVtOuKJU252w2Jd5O>
諏訪神社地車夏祭り02 2018年8月6日掲載 2018年11月20日閲覧
- 4
https://blog-001.west.edge.storage-yahoo.jp/res/blog-5c-9c/naniwakai09/folder/1556735/63/64627863/img_0
諏訪連合町会盆踊り 2018年8月2日掲載 2018年11月20日閲覧
- 5 <http://www.jyo2.com/template/wp-content/uploads/imgs/8/d/8d486e0a.jpg>
城東ジャーナル 2018年11月20日閲覧